青木文教（あおきぶんきょう）　チベット学者。明治十九年九月二十八日滋賀県生れ。昭和二十一年十一月七日没（一八八六―一九五六）。大谷光瑞の指名でチベットに渡り、ダライ・ラマ十三世の弟子となる。帰国後東京帝国大学文学部西蔵語講師。

著書に『西蔵文化の新研究』（昭和十五年十二月一日有光社）。